

# 第65期 中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

- 1P 株主の皆様へ  
グループがひとつの企業体となり、  
総合力を発揮して、成長を実現する!
- 3P 進化し続けるOUGグループ  
「水産物流通サービス業」の実現に向けて、  
セグメント事業間の連携を強化し、  
相乗効果を発揮するOUGグループ
- 5P 財務の概況
- 7P 会社情報  
株式の状況
- 8P GROUP NEWS 舞洲流通センター(株)  
グループの物流を担う舞洲流通センター



代表取締役社長

谷川 正俊

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第65期第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

平成22年12月

## 事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速に急速な円高や株安などが重なり、景気持ち直しの動きに足踏みがみられ、雇用・所得環境は引き続き厳しく、デフレの状態のなか、個人消費は総じて低迷したまま推移いたしました。

水産物流通業界におきましては、個人消費が低迷するなか、消費者の節約・低価格志向は浸透し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,530億51百万円（前年同期比100.6%）となりました。損益面では、売上総利益は111億73百万円（前年同期比101.9%）となり、営業利益は販売費及び一般管理費の間接経費全般について削減等効率化を進め2億47百万円（前年同

# グループがひとつの企業体となり、 総合力を発揮して、成長を実現する！

期1億45百万円の損失)、経常利益は金融収支の改善に努め4億83百万円(前年同期比617.3%)となりました。四半期純利益は投資有価証券売却益3億1百万円の特別利益の計上もあり1億89百万円(前年同期比182.0%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業の売上高は取扱数量の増加などにより967億56百万円、セグメント利益は間接経費全般の削減に努め3億86百万円となりました。

#### <市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業の売上高は消費者の低価格志向の浸透や価格競争の激化による販売単価の低下などにより559億51百万円、セグメント利益は2億56百万円の損失となりました。

#### <養殖事業>

九州、四国にてハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業の売上高は販売数量の増加により28億14百万円、セグメント利益は給餌効率の改善などにより2億32百万円となりました。

#### <食品加工事業>

消費地にある鮮魚加工センターにて輸入サーモンのフィレ加工及びハマチ、ブリ等の鮮魚加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業の売上高は低価格化や販売競争の激化などにより15億45百万円、セグメント利益は主要製品の原材料価格の高

騰などにより1億51百万円の損失となりました。

#### <その他>

グループの水産物流通を補完する物流事業等その他の売上高は30億40百万円、セグメント利益は24百万円の損失となりました。

今後の見通しにつきましては、円高の進行、雇用・所得環境の回復の遅れ、デフレの長期化など依然として景気回復に向けて懸念事項は多く、先行き不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境は、少子高齢化、「安全・安心」の更なる追求、消費者の消費動向の変化、流通構造の変化、水産資源の減少等ますます厳しくなっており、今後も引き続き厳しい状況が続くと予想されます。

こうした環境変化に対応するため、グループがひとつの企業体となってそれぞれの役割を明確化し、その役割を遂行し、連携することにより相乗効果を生み出し、グループの総合力を高めて、業績の向上に努めてまいります。

通期の連結業績に関しましては、平成23年3月期売上高3,200億円、営業利益15億円、経常利益18億円、当期純利益13億円を見込んでおります。

期末の配当金につきましては、1株あたり6円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

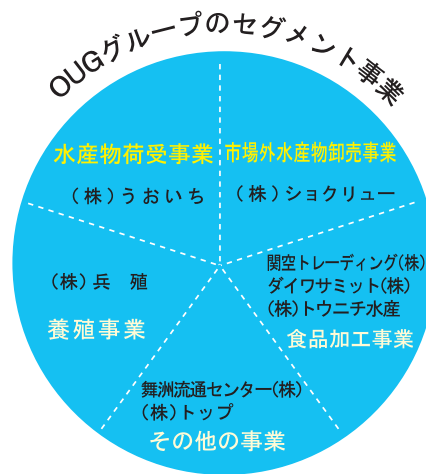
# 「水産物流通サービス業」の実現に向けて、セグメント事業

## ■主力となる「水産物荷受事業」、「市場外水産物卸売事業」

当社グループは、「水産物荷受事業」と「市場外水産物卸売事業」を中心に、「養殖事業」、「食品加工事業」、「その他の事業」を加えた5つのセグメント事業を展開しております。今回は、その中でも、当社グループの売上高と収益の核となる「水産物荷受事業」と「市場外水産物卸売事業」の2つの事業についてご紹介します。

この主力となる「水産物荷受事業」を営む株式会社うおいちと、「市場外水産物卸売事業」を営む株式会社ショクリューは、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域を拠点としたネットワークによる顧客満足度の向上により業績の拡大に努めてまいります。

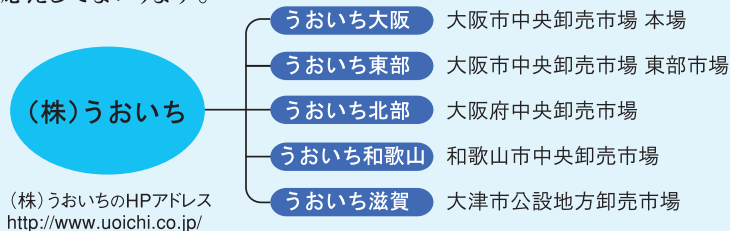
当社グループは、各事業の連携を強化し、それぞれの持つ機能を有効活用し、相乗効果を発揮することにより、競争優位を構築してまいります。



### 水産物荷受事業 株式会社うおいち

同社は、OUGグループの中核企業として中央卸売市場を中心に荷受事業を営んでおります。また同社は、近畿圏における水産物の荷受事業の連携をより強固なものとし、仕入れの集約化による調達力の強化、販売力の強化を行い、競争優位を構築してまいります。

従来、点であった各市場・各拠点の顧客ニーズ等の情報を共有化することで人的・物的なロスを軽減、近畿一円を切れ目なくカバーするシステム「近畿荷受ネットワーク」を構築し、お客様の様々なニーズにお応えしてまいります。



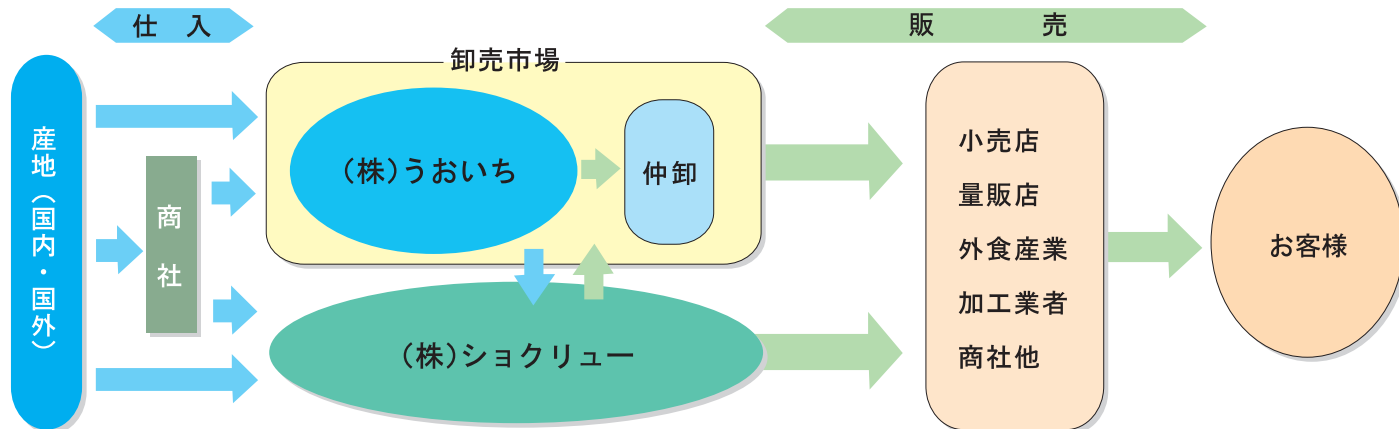
平成22年11月  
松葉ガニ初セリ風景





# 間の連携を強化し、相乗効果を発揮するOUGグループ

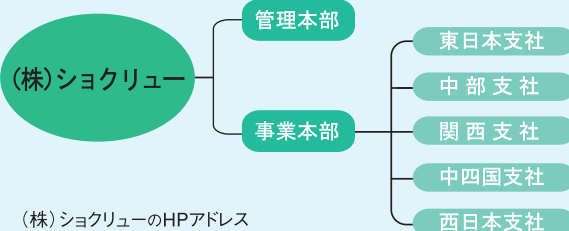
水産物の流通経路



## 市場外水産物卸売事業 株式会社ショクリュー

同社は、OUGグループの中核企業として食品流通サービス業を目指しております。取扱商材は、水産物に限定せず、食料品全般を取扱い、国内のみならず海外より仕入れた様々な食材を日本各地へ迅速に安定供給しております。

また、同社は「顧客起点」を重視し、全国各地にある営業拠点で地域の特性に応じた営業活動を展開することにより、お客様が望む商品やサービスを提供してまいります。



(株)ショクリューのHPアドレス  
<http://www.shokuryu.co.jp/>

# 財務の概況

## 第2四半期連結貸借対照表

科目	期別	当第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前第2四半期 (平成21年9月30日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
<b>資産の部</b>				
<b>流動資産</b>		<b>50,386</b>	<b>49,182</b>	<b>44,011</b>
現金及び預金		2,304	2,429	2,586
受取手形及び売掛金		28,383	27,996	26,750
商品及び製品		18,983	18,370	14,221
仕掛品		0	6	4
原材料及び貯蔵品		112	127	118
その他		1,546	1,127	1,252
貸倒引当金		△ 944	△ 876	△ 922
<b>固定資産</b>		<b>21,185</b>	<b>20,785</b>	<b>21,219</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>12,702</b>	<b>12,537</b>	<b>12,516</b>
土地		7,052	7,107	7,105
その他		5,649	5,430	5,410
<b>無形固定資産</b>		<b>2,107</b>	<b>965</b>	<b>1,771</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>6,375</b>	<b>7,282</b>	<b>6,932</b>
投資有価証券		5,244	6,039	5,787
その他		2,741	3,129	2,909
貸倒引当金		△ 1,610	△ 1,886	△ 1,764
<b>資産合計</b>		<b>71,572</b>	<b>69,967</b>	<b>65,231</b>

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前第2四半期 (平成21年9月30日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
<b>負債の部</b>				
<b>流動負債</b>		<b>49,553</b>	<b>46,125</b>	<b>42,745</b>
支払手形及び買掛金		20,962	20,642	17,798
短期借入金		19,640	18,970	15,670
1年内返済予定の長期借入金		4,698	2,957	5,161
未払法人税等		399	91	211
賞与引当金		767	792	689
その他		3,086	2,671	3,215
<b>固定負債</b>		<b>8,344</b>	<b>10,327</b>	<b>8,366</b>
長期借入金		1,821	4,648	2,042
退職給付引当金		2,270	2,157	2,311
役員退職慰労引当金		45	35	42
負ののれん		604	996	800
その他		3,602	2,489	3,169
<b>負債合計</b>		<b>57,898</b>	<b>56,453</b>	<b>51,112</b>

<b>純資産の部</b>				
<b>株主資本</b>		<b>13,886</b>	<b>13,277</b>	<b>14,025</b>
資本金		6,495	6,495	6,495
資本剰余金		6,153	6,153	6,153
利益剰余金		1,457	847	1,596
自己株式		△ 220	△ 219	△ 220
<b>評価・換算差額等</b>		<b>△ 216</b>	<b>236</b>	<b>90</b>
その他有価証券評価差額金		158	613	466
繰延ヘッジ損益		1	1	1
土地再評価差額金		△ 377	△ 377	△ 377
<b>少数株主持分</b>		<b>4</b>	<b>0</b>	<b>2</b>
<b>純資産合計</b>		<b>13,674</b>	<b>13,514</b>	<b>14,119</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>71,572</b>	<b>69,967</b>	<b>65,231</b>

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務の概況

## 第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		[自平成22年4月1日 至平成22年9月30日]	[自平成21年4月1日 至平成21年9月30日]	[自平成21年4月1日 至平成22年3月31日]
売上高		153,051	152,093	317,482
売上原価		141,878	141,131	294,175
売上総利益		11,173	10,962	23,307
販売費及び一般管理費		10,925	11,107	22,455
営業利益		247	△ 145	852
営業外収益		405	406	778
受取利息		5	6	13
受取配当金		96	55	83
負のれん償却額		196	196	392
持分法による投資利益		—	1	1
その他		106	146	287
営業外費用		169	182	397
支払利息		138	147	287
持分法による投資損失		1	—	—
その他		29	34	110
経常利益		483	78	1,232
特別利益		338	20	22
投資有価証券売却益		301	20	22
固定資産売却益		37	—	—
特別損失		147	—	134
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		65	—	—
投資有価証券評価損		54	—	—
事業整理損		27	—	—
減損損失		—	—	74
関係会社株式評価損		—	—	30
固定資産除却損		—	—	30
税金等調整前四半期(当期)純利益		675	98	1,120
法人税、住民税及び事業税		336	38	142
法人税等調整額		147	△ 42	123
法人税等合計		483	△ 4	265
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益		191	103	854
少数株主利益		2	△ 1	1
四半期(当期)純利益		189	104	853

注記事項 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 営業利益および少数株主利益の△印は損失を表示しております。

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		[自平成22年4月1日 至平成22年9月30日]	[自平成21年4月1日 至平成21年9月30日]	[自平成21年4月1日 至平成22年3月31日]
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,103	2,062	6,223
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		104	△ 68	△ 284
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		2,697	△ 1,865	△ 5,655
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 301	127	283
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		2,571	2,206	2,206
VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	80	80
VIII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		2,270	2,415	2,571

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



## OUGホールディングス株式会社

### 会社概要

**主要な事業内容** 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

**設立** 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月)

**資本金** 6,495百万円

**発行済株式総数** 55,622,921株

**従業員数** 33名

### 役員の体制

取締役	代表取締役社長	谷川正俊
	取締役	下川真二
	取締役	村松保範
	取締役	三輪光幸
	取締役	薄波卓郎
監査役	常勤監査役	角田晴夫
	監査役	谷和道雄
	監査役	村中義美 (社外監査役)
相談役	監査役	岡本宏孝 (社外監査役)
	相談役	溝上源二
顧問	顧問	竹西俊之助
	顧問	久井惠之助
執行役員	常務執行役員	原田史郎
	常務執行役員	草場裕樹
	常務執行役員	中江一夫
	執行役員	玉田耕也

### 株式の状況

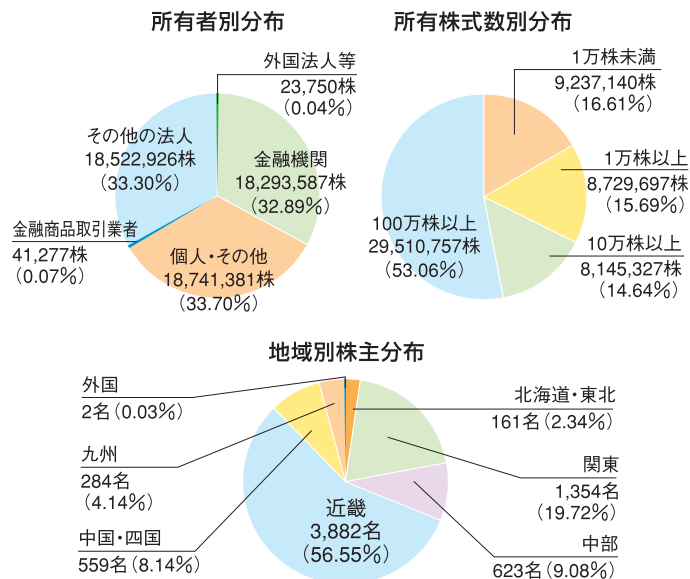
発行可能株式総数	209,159,000株
発行済株式の総数	55,622,921株
株主数	6,865名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マルハニチロホールディングス	7,450	13.48
日本生命保険相互会社	3,680	6.66
農林中央金庫	2,636	4.77
株式会社みずほ銀行	2,581	4.67
丸紅株式会社	2,000	3.62
株式会社りそな銀行	1,842	3.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,742	3.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTB エクイティインベストメンツ株式会社信託口)	1,600	2.89
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,519	2.75
株式会社大丸松坂屋百貨店	1,154	2.09

(注) 持株比率は、自己株式(338,699株)を控除して計算しております。

### 株式分布





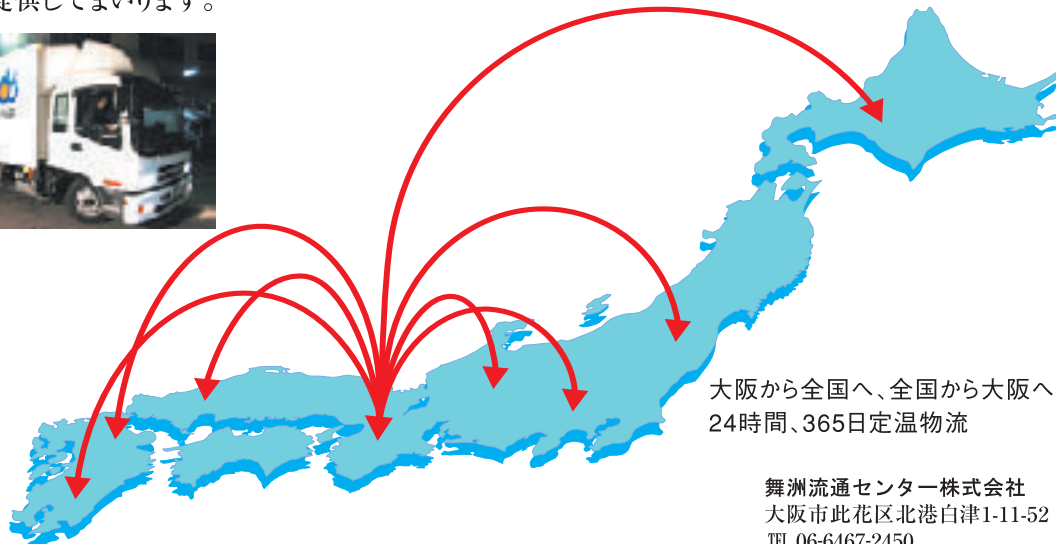
## グループの物流を担う舞洲流通センター

舞洲流通センター株式会社は、鮮魚を中心とした水産物およびチルド加工品を扱う物流会社です。

同社は、OUGグループの水産物流通を物流面からサポートする事業会社として、(株)うおいちの鮮魚および(株)ショクリューの量販店向けの仕分け配送を中心に事業を展開しております。また、グループ外の物流に対しても積極的に新しいチャネルの拡大を図っております。

本年4月には、低温加工室(0℃～10℃)を新設し、冷凍商品の仕分けにも最適な温度管理体制を整えました。これを期に、本年スタートした(株)ショクリューの通販ギフトやホテル・外食産業のギフト配送について、在庫管理を含めて受注から配送まで一貫した同社独自の物流システムが本稼働しました。

同社は、今後ますます多様化する物流ニーズに対してソリューションの提供を推進し、お客様が求める付加価値の高い物流サービスを提供してまいります。



大阪から全国へ、全国から大阪へ  
24時間、365日定温物流

舞洲流通センター株式会社  
大阪市此花区北港白津1-11-52  
TEL 06-6467-2450

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行（口座管理機関）の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
  - ・ 東京 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
  - ・ 大阪 TEL 0120-684-479 (通話料無料)<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場金融商品取引所	大阪証券取引所市場第一部（証券コード 8041）
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="http://www.oug.co.jp">http://www.oug.co.jp</a>

### 免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

## Web Information

当社HPでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表を行うページ、グループ各社の紹介等、様々な情報を掲載しておりますので、是非ご活用ください。

GROUP  
VISION

COMPANY  
PROFILE



TOP PAGE

## OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号  
うおいちニッセイビル5階  
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145  
URL <http://www.oug.co.jp>

<http://www.oug.co.jp>